

学 科	鍼灸マッサージ科		学 年	3 年 生	期 別	通 年	科目の実務経歴		有
授業科目名	臨床推論				担当教員	城田 健吾			
授業の方法	講義・演習				単位数	2 単位	時間数	4 5 時間	
学修内容	施術者として、臨床にあたる上で必要な診察法や検査法に関する知識に基づき、施術の適否を判断できる能力を学び、臨床実習で行った診察・施術について、再度、患者情報の整理、病態把握、治療方針について適切であったかを検証するための症例検討の技術を学ぶ。								
授業の到達目標	Ⅱ．医学的知識 Ⅲ．基本的臨床能力 8．リスク管理 3．診療録を作成する能力 4．主要症候に対する東洋療法の適否の判断、治療方針・計画を立てる能力 5．はり、きゅうの施術を安全かつ適切に行う能力								
授業計画	後 期				後 期				
	回	テーマ			回	テーマ			
	1	臨床推論オリエンテーション/診察の手順の確認			1				
	2	診察の手順の確認			2				
	3	診療録の書き方(SOAP) 診療録から病態把握・治療方針を導く			3				
	4	症例検討の概要・症例報告書の書き方 診察および施術における注意事項			4				
	5	診察および施術における注意事項			5				
	6	診察および施術における注意事項			6				
	7	期末試験 / 総合演習			7				
	8	頸上肢痛の診察における臨床推論			8				
	9	頸上肢痛の診察における臨床推論			9	腰下肢痛の診察における臨床推論			
	10	腰下肢痛の診察における臨床推論			10	症例検討会のオリエンテーション			
	11	総合演習			11	総合演習			
	12	症例検討会(4名)			12	症例検討会(5名)			
	13	症例検討会(5名)			13	症例検討会(5名)			
	14	症例検討会(5名)			14	症例検討会(5名)			
15	症例検討会(5名)			15	症例検討予備日/総合演習				
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)								
評価方法	筆記試験50% 症例報告50% (症例報告書と症例発表の観察記録にて評価します。)				実務経験	教員歴9年			
履修上の注意	* 症例検討会は参加型の演習になりますので積極的に発言してください。 * 症例報告書の作成は、診療録の作成時に作成されることをお勧めします。パソコンによる報告書作成も慣れてください。				授業時間外の学習	図書室を活用して文献調査をしてください。			
使用教材	配布資料・東海医療学園「臨床実習ハンドブック」 臨床実習診療録のコピー・症例報告書				連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。(月～金)			